

収入状況（見込）申告書の記入のしかた

【記入者】

- (1) 世帯の主たる生計維持者が申告してください（世帯主を想定。擬制世帯主を含みます）。
- (2) 世帯の主たる生計維持者が世帯主でない場合は、申告者氏名を連名で記入してください。

【記入要領】

「1 本年の収入見込額の状況（令和2年1月から12月までの収入）」について

- (1) 令和2年1月～12月の収入（見込）、必要経費（見込）、所得（見込）を記入してください。
- (2) 減免判定を行う「収入の種類」は「事業収入」「不動産収入」「山林収入」「給与収入」のみです。
- (3) (2) 以外の収入は申告不要です（(2) 以外の収入の減少があっても、減免はできません）
- (4) 「実績額」には収入（又は経費）が確定している月までの金額を記入してください。
- (5) 「見込額」には収入（または経費）が未確定の月から12月までの金額を記入してください。
- (6) (1月～ 月)(月～12月)の欄に、(4) (5) で区切った期間をに記入してください。
- (7) 給与収入の(A)欄は、税や社会保険料を引かれる前の支給総額を記入してください（賞与を含む）
- (8) 給与収入の(C)欄「本年中の所得（見込）」は、未記入（空欄）のまま提出してください。

「2 前年の収入額の状況（平成31年1月から令和元年12月までの収入）」について

- (1) 平成31年1月～12月の収入（実績）、必要経費（実績）、所得（実績）を記入してください。
 - (2) (1月～ 月)(月～12月)の期間は、上表1 と同じ期間にしてください。
 - (3) (D) (E) (F)各欄の金額は、確定申告（又は住民税申告）と相違がないように記入してください。
 - (4) 給与収入の(D) (F)欄は「令和元年分 給与所得の源泉徴収票」（会社等が発行）と相違がないように記入してください（源泉徴収票が複数ある場合は合算してください）。
- ※ (D)欄は源泉徴収票の「支払金額」、(F)欄は源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」になります。
- ※ 源泉徴収票がない場合は「令和元年分の年末調整等のための給与所得控除後の給与等の金額の表」（国税庁ホームページ等を参照）で計算できます。
- (5) 令和2年1月1日に田川市に居住しておらず、他市町村で税申告をしている場合は、確定申告書（又は住民税申告書）の写しを添付してください。

「3 本年の収入見込額の内訳（1の収入の種類ごとの内訳）」について

- (1) 「1 本年の収入見込額の状況」の「収入の種類」ごとに記入してください。
- (2) 「収入の種類」「事業所名、会社名等」を記入してください。
- (3) 「収入の種類」が「給与収入」の場合は、必要経費内訳の記入は不要です（収入内訳は要記入）。
- (4) 「収入項目」「経費項目」を記入し、それぞれの「実績額」「見込額」を記入してください。
- (5) 「実績額」「見込額」「合計額(A)」「合計額(B)」のそれぞれ「総計」は、表1の数値と合致させてください。
- (6) 損失補てんに対して支払われる保険金や損害賠償金がある場合は、必ず収入項目に挙げてください。ただし、国、県から支給される給付金（特別定額給付金、持続化給付金等）は収入に挙げないでください。市町村から支給される給付金がある場合は、田川市役所税務課に問い合わせください。
- (7) 収入及び必要経費の内訳が確認できるもの（帳簿など）を添付してください。

【記入例】 裏面の記入例を参考にして記入してください。

収入状況（見込）申告書
（新型コロナウイルス感染症関係）

田川市長 殿

記入例

（裏面に記入のしかたが載っています）

世帯主氏名（申告者名） 田川 太郎 印

申告者氏名 印

（生計維持者が世帯主の場合は記入不要）

世帯の主たる生計維持者の収入について、本年の収入見込額及び前年の収入額を次のとおり申告します。

1 本年の収入見込額の状況（令和2年1月から12月までの収入） [単位：円]

収入の種類	本年中の収入（見込）			本年中の必要経費（見込）			本年中の所得（見込） (A)-(B)=(C)
	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (A)	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (B)	
事業収入	2,000,000	3,200,000	5,200,000	1,100,000	1,700,000	2,800,000	2,400,000
不動産収入			0			0	0
山林収入			0			0	0
給与収入			0				

2 前年の収入額の状況（平成31年1月から令和元年12月までの収入） [単位：円]

収入の種類	前年中の収入（実績）			前年中の必要経費（実績）			前年中の所得（実績） (D)-(E)=(F)
	実績額 (1月～5月)	実績額 (6月～12月)	合計 (D)	実績額 (1月～5月)	実績額 (6月～12月)	合計 (E)	
事業収入	3,000,000	4,800,000	7,800,000	1,650,000	2,550,000	4,200,000	3,600,000
不動産収入			0			0	0
山林収入			0			0	0
給与収入			0				0

3 本年の収入見込額の内訳（1の収入の種類ごとの内訳）

収入の種類	事業収入	事業所名、会社名等	(有) 田川太郎商店
-------	------	-----------	------------

[単位：円]

収入項目	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (A)	必要経費内訳	経費項目	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (B)
	販売収入	1,800,000	3,100,000		4,900,000	売上原価	270,000	465,000
保険金	0	100,000	100,000	給与賃金	500,000	700,000	1,200,000	
損害賠償金	200,000	0	200,000	地代家賃	0	40,000	40,000	
				水道光熱費	100,000	140,000	240,000	
				広告宣伝費	0	120,000	120,000	
				通信費	20,000	25,000	45,000	
				減価償却費	150,000	210,000	360,000	
				租税公課	60,000	0	60,000	
総計	2,000,000	3,200,000	5,200,000	総計	1,100,000	1,700,000	2,800,000	

※ 収入の種類が複数ある場合は、裏面に記載してください。

※ 損失補填に対して支払われる保険金や損害賠償金がある場合は、必ず収入項目に記入してください。

※ 収入及び必要経費の内訳が確認できるもの（帳簿など）を添付してください。